



PDRファーマ株式会社

医療 DX (Digital Transformation) ソリューション 「Bridgea TIMER Guide」「onti-d」販売開始

PDRファーマ株式会社(本社:東京都中央区/代表取締役社長:村上 雅人)は、医療現場が抱える課題解決に取り組み、データやデジタル技術を駆使した医療 DX を推進しています。この度、医療従事者への更なる業務支援を図ることを目的に、2つのシステムの販売を開始しました。

① Bridgea TIMER Guide <PET (Positron Emission Tomography) 検査時間管理システム>

「Bridgea TIMER Guide」は、既に発売している PET 検査の時間管理を医療従事者間で共有、またリアルタイムに患者さんの検査状況を確認することを可能とする製品「Bridgea TIMER」のオプション品です。「Bridgea TIMER Guide」では、患者さんの検査準備から、投与、待機、撮影、検査終了に至るまでの案内を音声と画面で示すことで、患者さんへの指示を遠隔にて行うことが可能となり、医療従事者の業務効率化を促進し、被ばくの低減に貢献することができるようになりました。

② onti-d <放射性医薬品業務支援システム>

現在発売されている「onti」は、医療被ばく線量の電子記録・管理・最適化を支える情報システムです。「onti」には、通常の被ばく線量管理システムには搭載されていない、患者情報の取得や誤投与防止機能、実投与量の自動計算、放射性医薬品使用記録簿の作成といった業務支援機能が搭載されております。かねてより、「onti」以外の医療被ばく線量管理システムを導入済みの医療機関からも、業務支援機能に限定した製品の販売を望む声を多く頂いており、それにお応えするべく「onti-d」の販売を開始し、より安全な医療の提供に貢献できるようになりました。

【イメージ図】

<Bridgea TIMER Guide>



<onti-d>



当社は、従来品も含めて放射性医薬品の投与による医療被ばく線量の管理を電子化することで、この先も医療従事者の業務効率化を実現するとともに、医療事故リスクの低減にも貢献する医療 DX ソリューションを積極的に展開し、医療 DX のパイオニアとして牽引してまいります。

PDRファーマについて

PDRファーマ株式会社(2022年ペプチドリームグループに参画)は、1968年に事業を開始して以来、放射性医薬品領域の先駆者として、放射性医薬品等の研究開発・製造・販売等を通じて高品質な放射性医薬品を提供してまいりました。現在21品目の放射性診断薬(SPECT診断薬およびPET診断薬)、及び8品目(3製品カテゴリー)の放射性治療薬を国内で販売しております。さらに、PDRファーマとペプチドリームは国内およびグローバル・マーケットに向けた放射性診断薬、ならびに放射線治療薬の広範なパイプラインを開発しています。詳細については、<https://www.pdradiopharma.com/>をご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

PDRファーマ株式会社 総務部 田中

E-mail: s-info-hq@pdradiopharma.com